

**明** けましておめでとうございます。本年も機関誌「Raisers」をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年は年初からコロナ禍による影響で、何から何までこれまでと違う日常を強いられてきました。毎年恒例の安全大会やSKYフォーラムも同様で、延期や中止される中、支部によってはオンラインで実施されたところもありました。今号でも紹介しておりますので、ご覧ください。

年が明けて、2度目の緊急事態宣言が発令されましたが、今後も細心の注意を払って日常を送らないといけないようです。安全大会やSKYフォーラムについても、3密を避けるための配慮として、関連資料をメール配信して情報共有したり、離隔距離を取った少人数での会合をオンライン配信したりする必要があるのでしょう。

オンライン配信の場合、日本全国の方がアクセスでき、情報共有できるメリットがあります。また、リアルタイム配信だけでなく、ある一定期間動画を公開しておけば、時間の制限なく、より多くの方が閲覧できるというメリットもあります。

転んでもただでは起きないぞということで、今後は新型コロナ対策に関わらず、全国に共有したい情報、あるいは各地の特性に応じて個別に共有したい情報など、その内容に応じて手法を変えて開催するのも良いかもしれません。(Y.H)

**関** 越自動車道で豪雪により約2,000台の自動車が立ち往生し、2日間にわたり閉じ込められたというニュースに触れ、集中豪雨による線路冠水で、東海道新幹線に20時間近く閉じ込められたことを思い出しました。

駅に非常停車した列車は食事の差し入れがあり、列車から外に出ることもできたそうなのですが、乗っていた列車は駅間停車なので、まさに閉じ込められ状態です。車内販売の飲食物が売り切れ、トイレの水も出なくなり、洗面所は充電のための携帯電話の山。設定温度がやや高めエアコンがあったのがせめてもの救いでした。筆者は、それ以前にも土砂崩れや台風上陸で6～8時間列車に閉じ込められ、機材配備の関係で外国の空港に6～8時間閉じ込められる等、経験豊富?なので、特に動じることなくひたすら睡眠モードでした。

今回の関越自動車道の場合、地元のお菓子等の差し入れがあったそうですが、狭い車内で身動きが取れず、燃料やバッテリーの残量と相談しながらの暖房や照明と、非常に過酷な環境下の2日間で、とにかく何とか無事解消できてよかったと思います。

さて、通信業界では災害対策の現場において、こうした事態に遭遇するリスクが高まります。通信業界だからこそそのICT活用で、リスク回避ができることを願ってやみません。(I.O)

### こんな時が危ない!

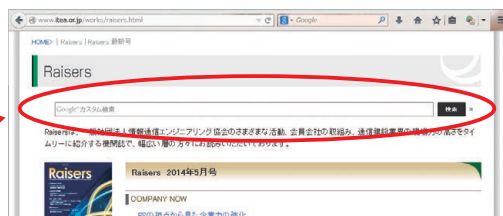
- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日～2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

### 「Raisers」はホームページで閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご活用ください。



Raisers第69巻第1号(通巻第746号) 2021年1月10日発行

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)